

# 一般国道116号 吉田バイパス

## 設計に関する説明会



国土交通省 北陸地方整備局

新潟国道事務所

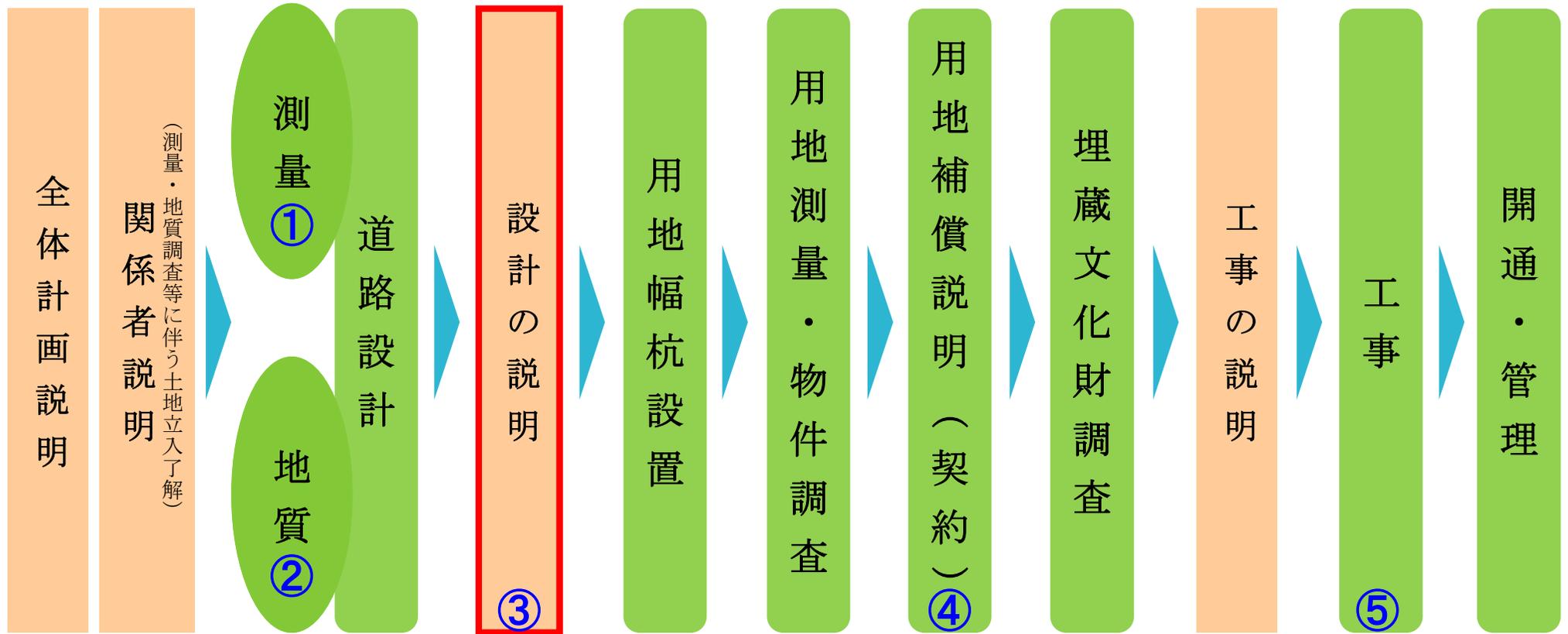
# 【本日の説明事項】

1. 事業の流れ
2. 国道116号の現状と課題
3. これまでの経緯
4. 設計の説明
5. 令和4年度の予定

# 1. 事業の流れ

# 事業の流れ

今回



## **2. 国道116号の現状と課題**

# 国道116号の現状



	開通中
高速自動車国道 (A路線)	2車 4車以上 ———
直轄国道	2車 4車以上 ———
補助国道	2車 4車以上 ———
主要地方道	———
対象区間	.....
事業中区間	.....

# 国道116号の課題： 交通渋滞

至 柏崎市



至 新潟市街地

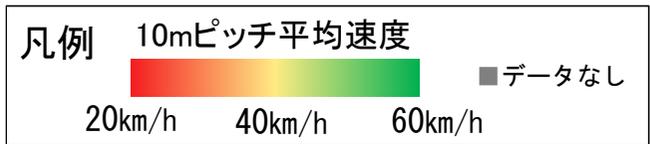
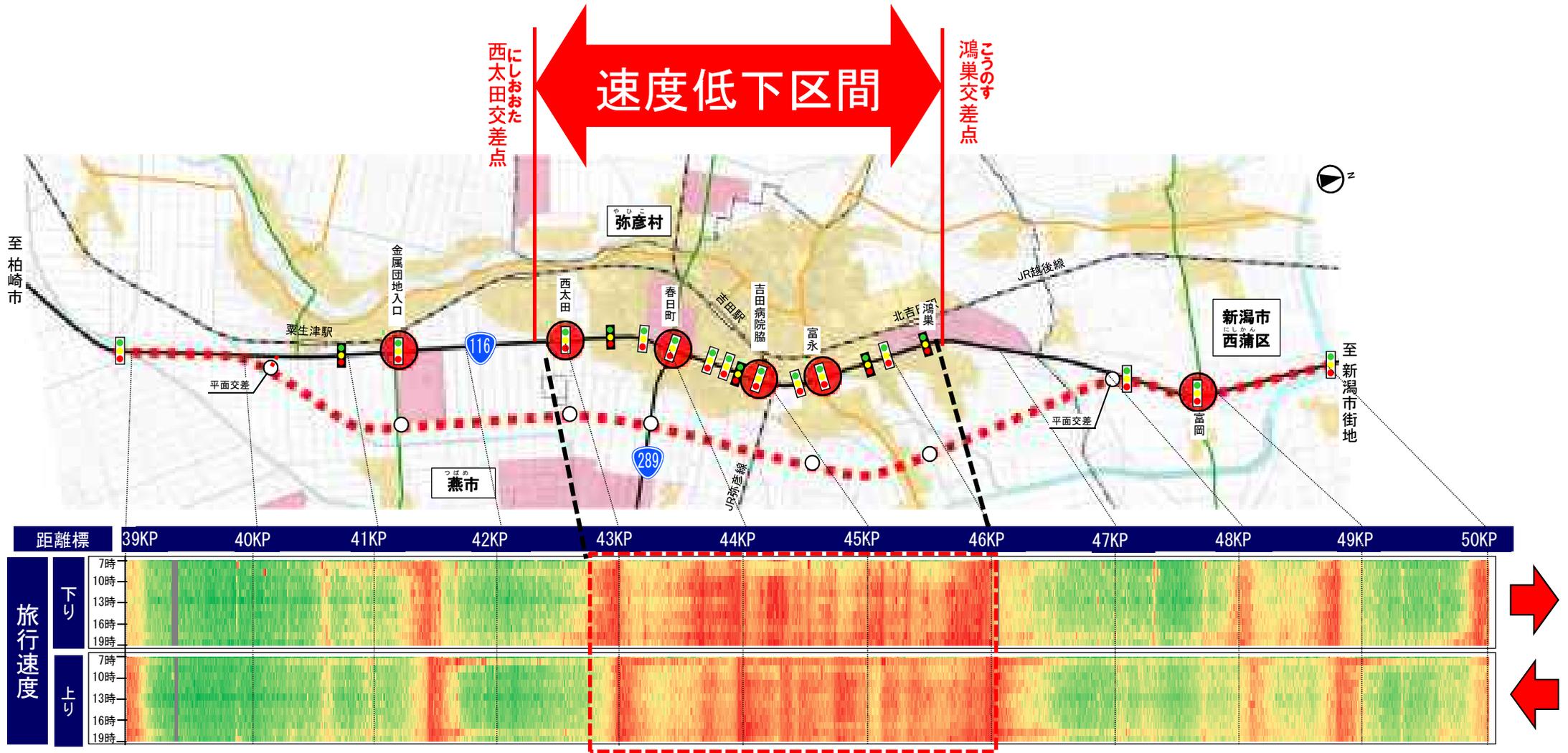
H30.7.17撮影

## 市街地における渋滞状況

(JR弥彦線跨線橋から「吉田病院脇」交差点を望む)

# 国道116号の課題：交通渋滞

当該区間（現道）における旅行速度

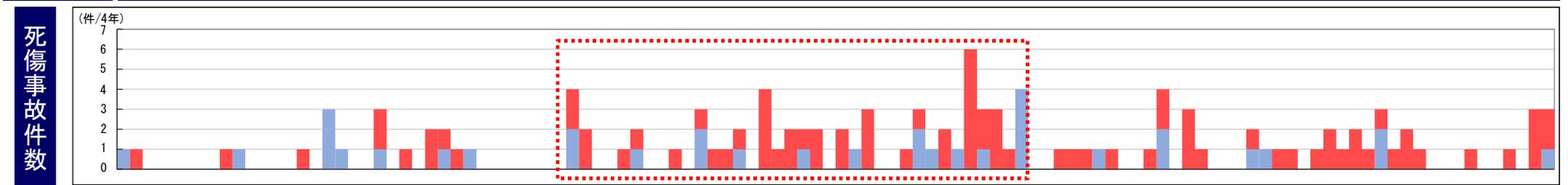
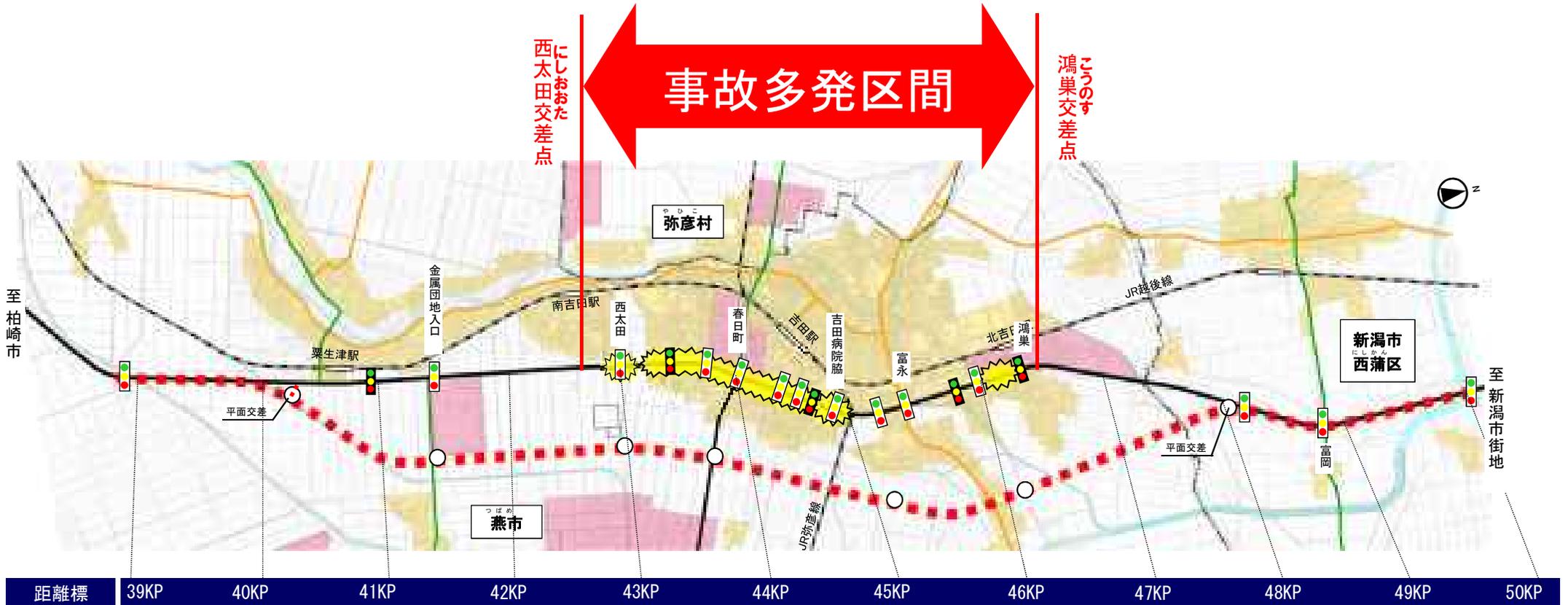


凡例	
○	バイパス部交差点
●	主要渋滞箇所・区間
☀	事故危険区間
●●●	信号交差点
●●●	信号交差点(ボタン式)
■	工業団地
■	市街地・集落

市街地部では慢性的な渋滞が発生

# 国道116号の課題： 交通事故

当該区間（現道）における死傷事故件数



凡例  
■ : 追突  
■ : その他(出会頭、人対車両等)

凡例	
○	バイパス部交差点
●	主要渋滞箇所・区間
☀	事故危険区間
●●●	信号交差点
●●●	信号交差点(ボタン式)
■	工業団地
■	市街地・集落

【年平均死傷事故件数】  
 対象区間(約11km) 30件/年  
 新潟県内直轄国道平均 16件/年  
 (※kmあたり平均死傷事故件数×11km)

**市街地部では追突事故が多発**

# 3. これまでの経緯

# これまでの経緯

平成14年  
～ 平成17年

国道116号  
(吉田BP)  
勉強会

令和元年12月

都市計画  
決定

令和2年3月

有識者等による  
新規採択時評価

令和2年4月

新規事業化

# これまでの経緯(2)

全体計画説明・関係者説明

令和2年10月



令和2年10月12日  
燕市役所

測量  
道路設計

令和2年11月～



令和2年10月15日  
岩室地区公民館

設計の説明  
(本日)

令和4年10月



令和3年4月  
下粟生津地先

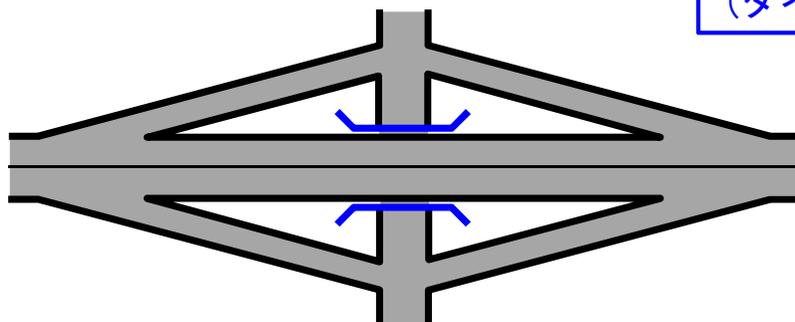
# 4. 設計の説明

# 事業の概要： 延長・IC構造(イメージ)

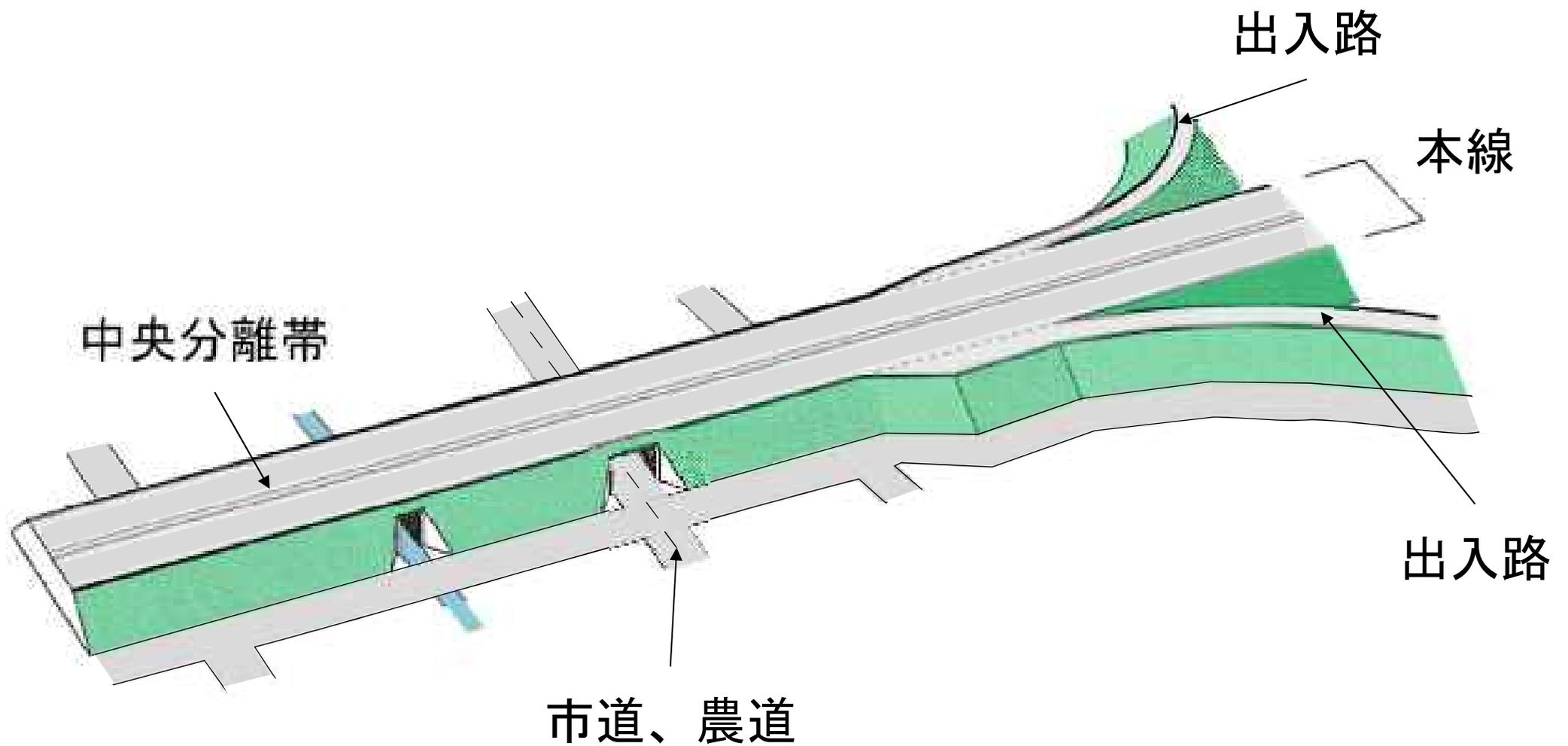
## 吉田バイパス 延長 11.5 km



【立体交差イメージ】  
ダイヤモンド型

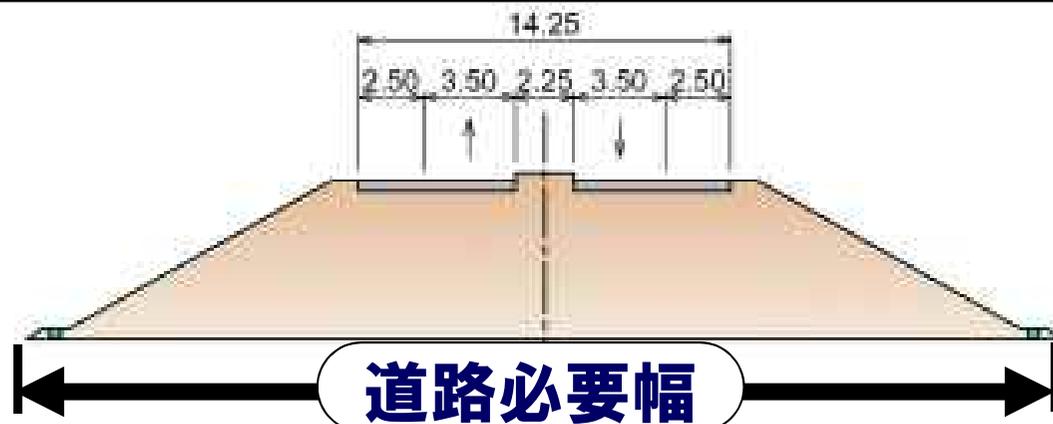


# 事業の概要：バイパス区間の構造(イメージ)

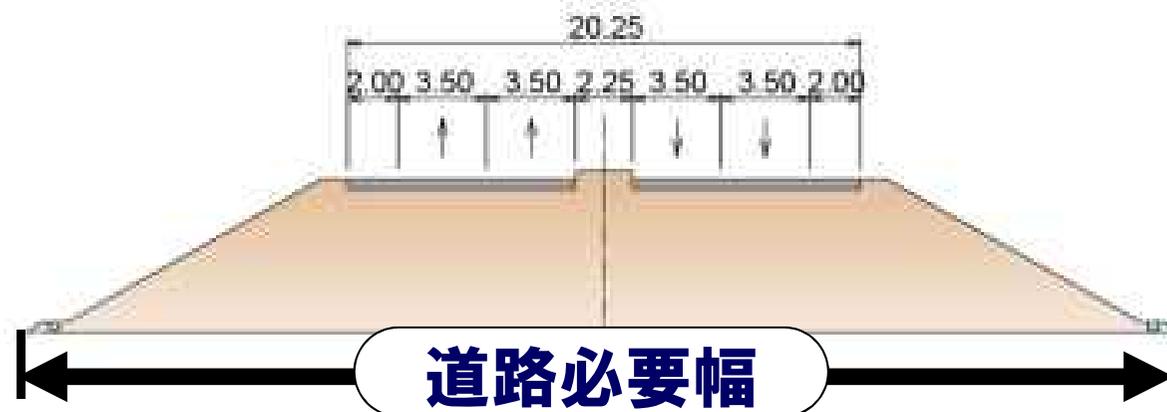


# 事業の概要： 標準横断構成

バイパス区間



バイパス区間  
(付加追越車線設置区間)



現道拡幅区間

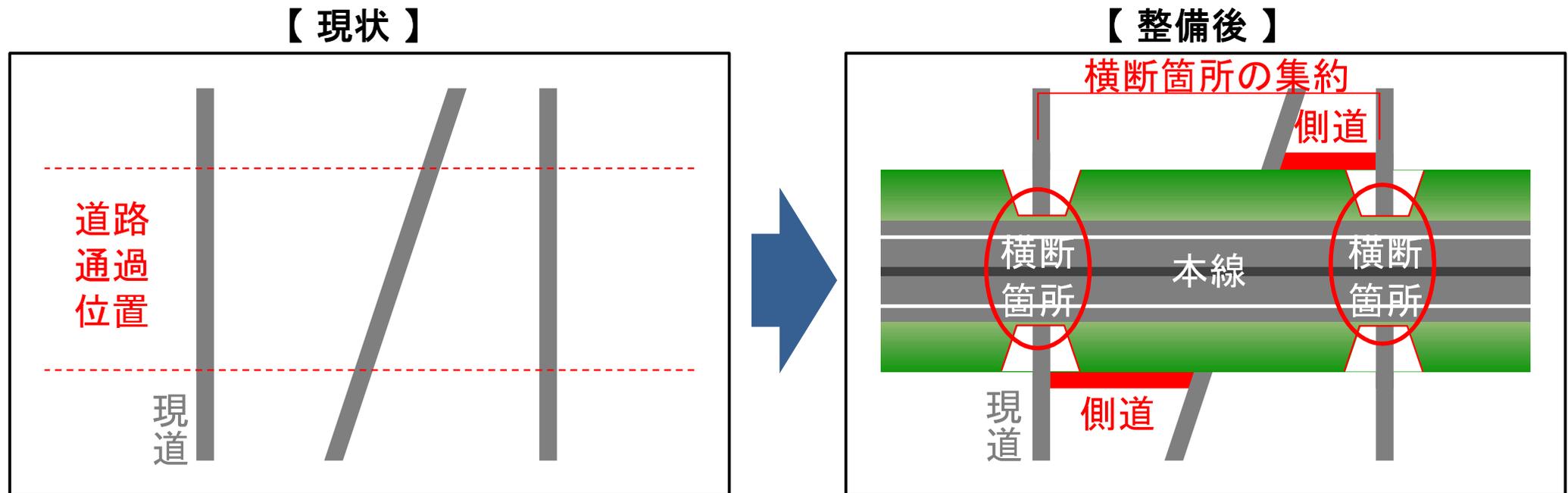


※現地盤の高さにより変動する可能性があります。

## 1. 本線との横断道路について

### (1) 本線横断箇所

- 本線横断箇所は、各自治会最低1箇所設置されるよう、概ね400~500m間隔で配置



### (2) 計画幅員

- 現況幅員を確保  
(ただし、将来整備計画がある場合は同計画と整合を図る。)

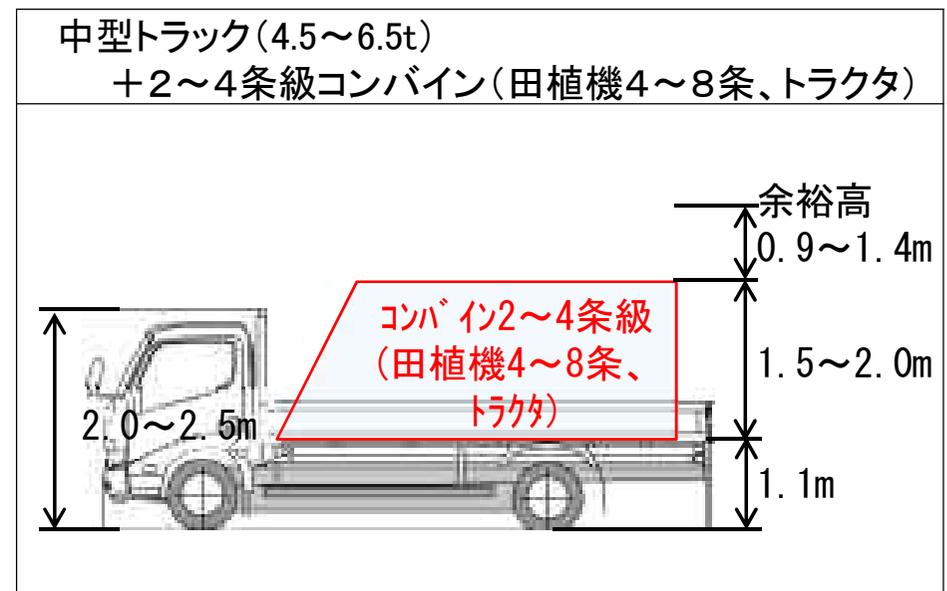
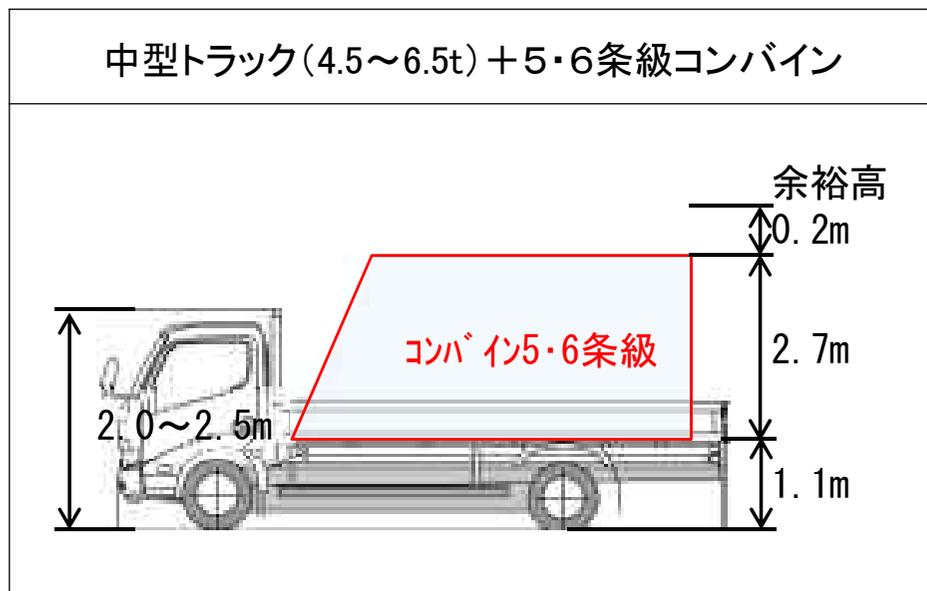
## 1. 本線との横断道路について

### (3) 建築限界（通行可能高さ）

- A. 重要物流道路 : H = 5.0 m
- B. 2車線道路 : H = 4.7 m
- C. 1車線道路 : H = 4.0 m

#### C. 1車線道路の建築限界の考え方

中型トラックでの農耕機械運搬を考慮して、4.0mの高さを確保

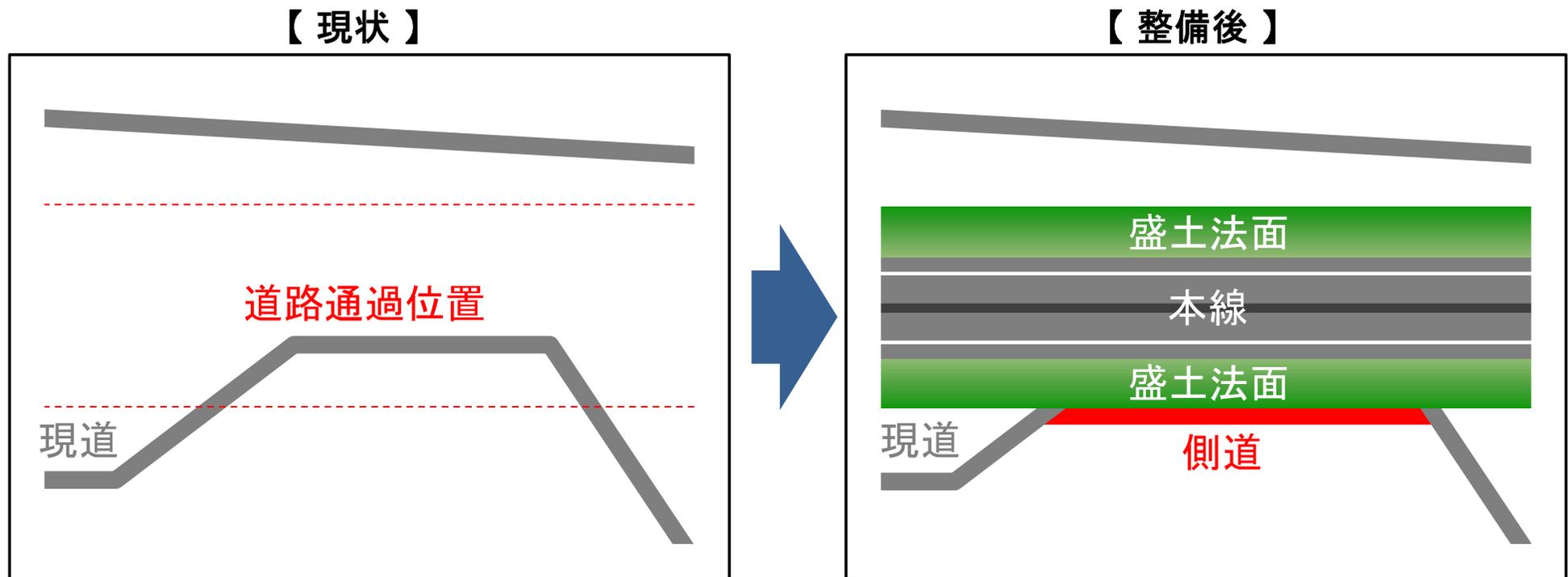


## 2. 側道（機能補償道路）の構造

### (1) 側道の設置箇所

#### ① 通行機能補償

- ・ 現状の道路網が寸断される箇所に側道を設置

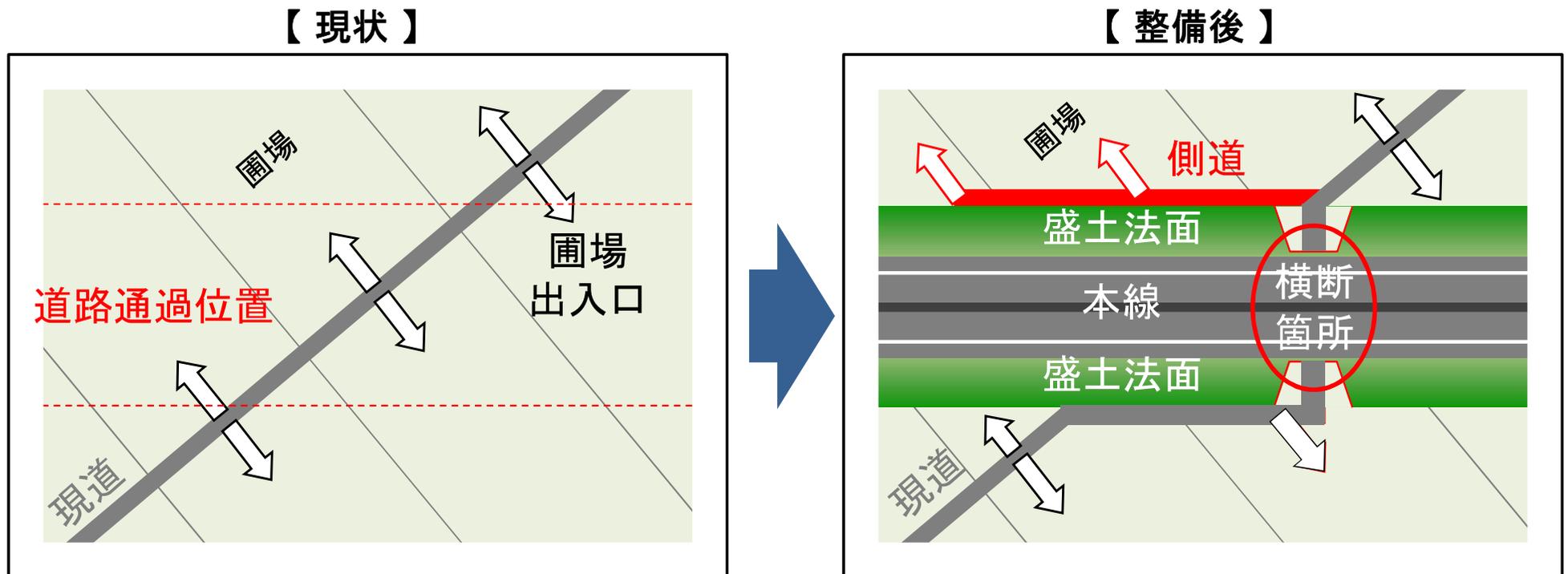


## 2. 側道（機能補償道路）の構造

### (1) 側道の設置箇所

#### ② 乗り入れ補償

- ・ 圃場への出入りができない箇所に側道を設置



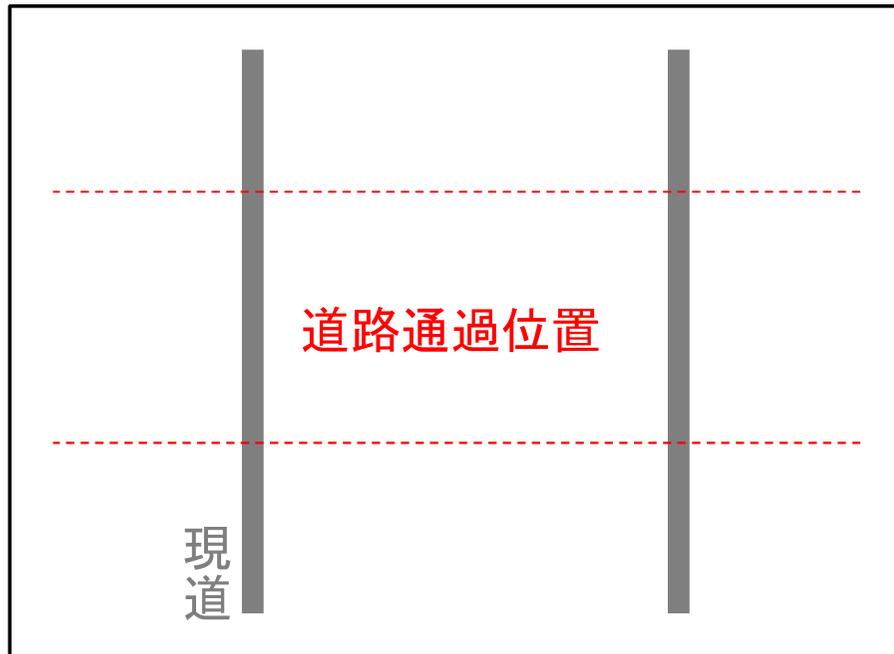
## 2. 側道（機能補償道路）の構造

### (1) 側道の設置箇所

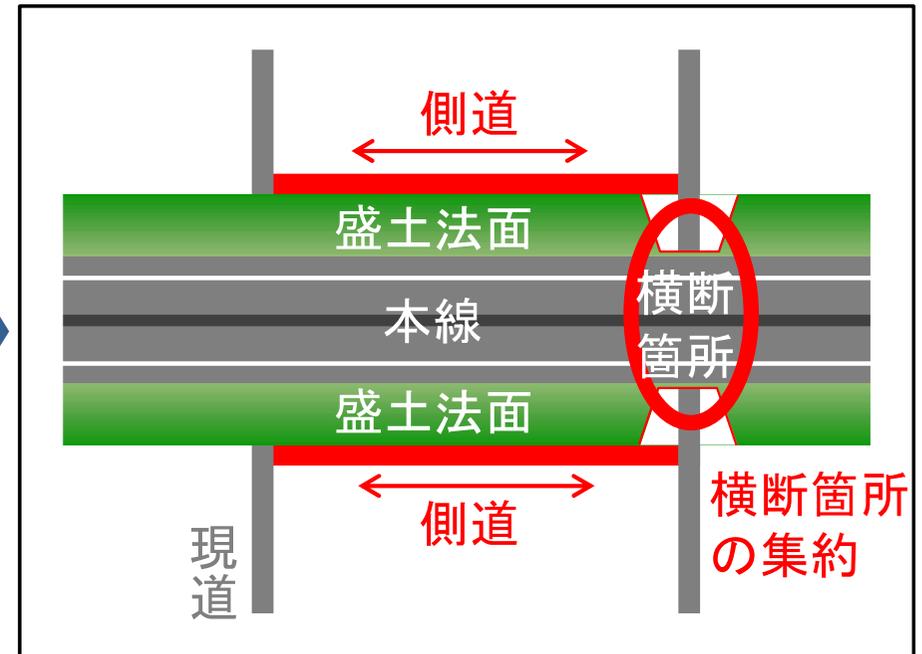
#### ③横断機能補償

- ・ 本線横断箇所の集約により、迂回が生じる箇所に側道を設置

【現状】



【整備後】



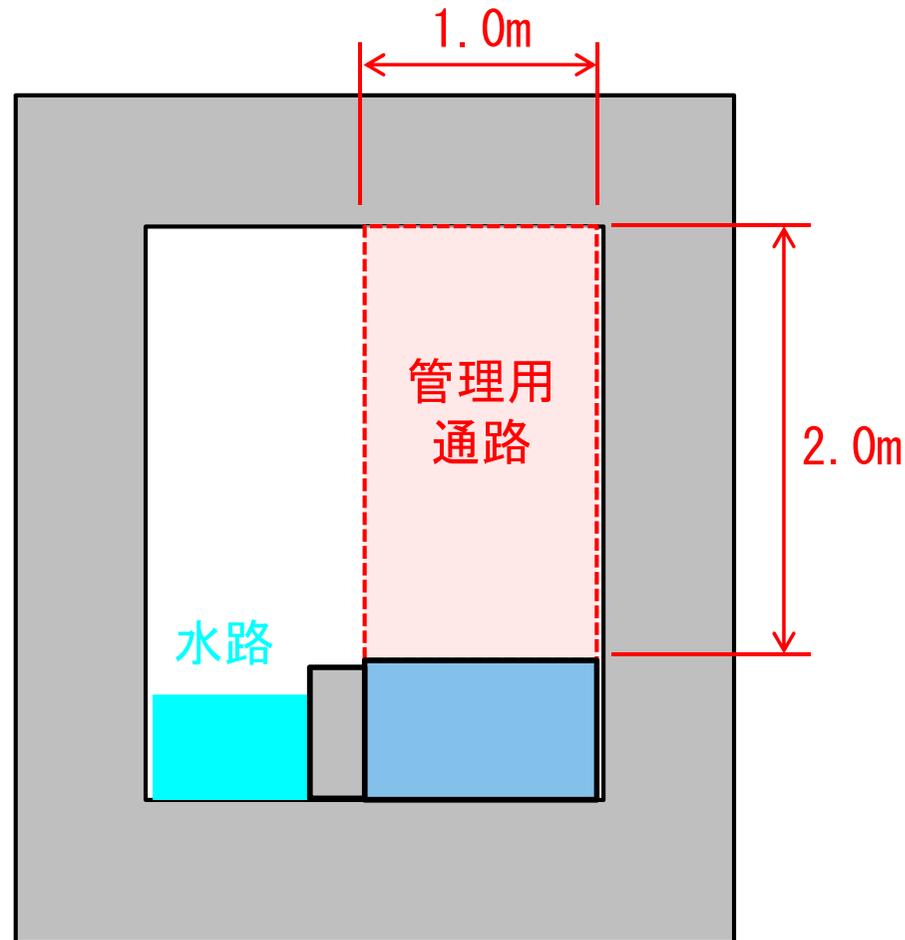
### (2) 側道の幅員

- ・ 側道は4.0mを基本とする

## 3. 用・排水路について

### (1) 横断水路の構造

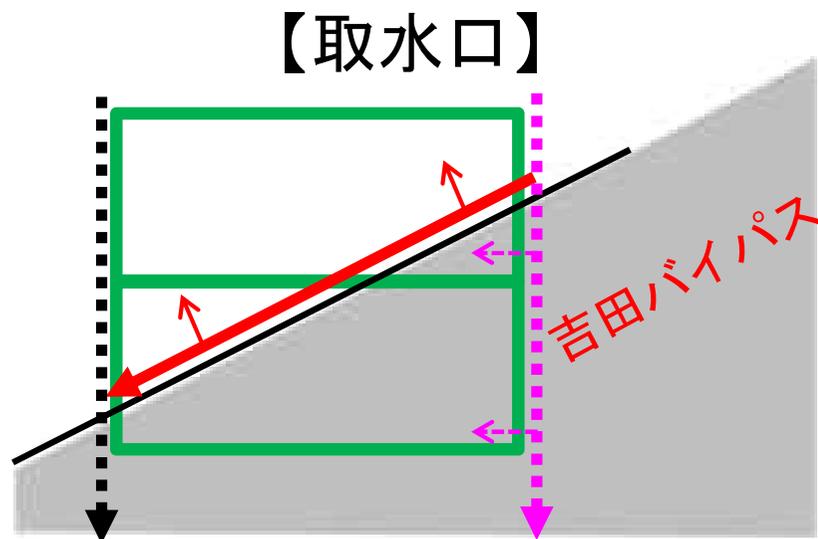
- 横断水路（用・排水路）は、函渠で本線を横断
- 水路の維持管理のために、1.0m×2.0mの管理通路を設置



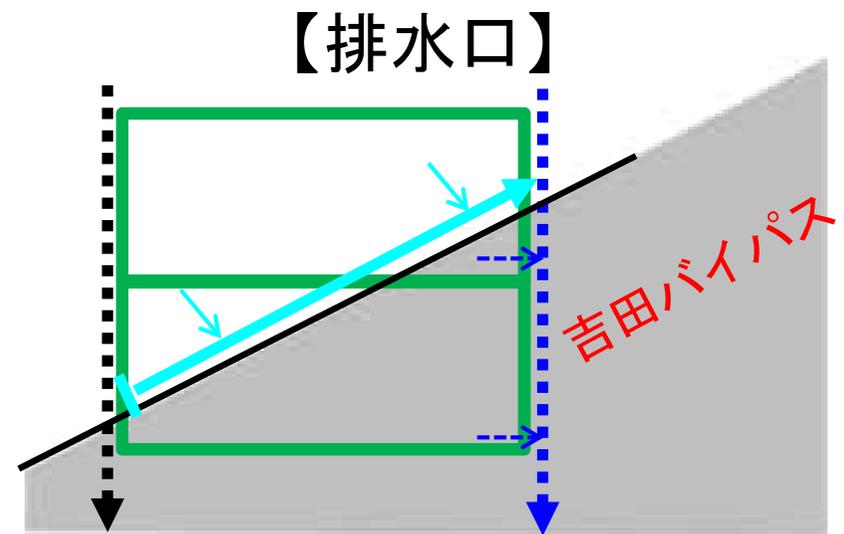
## 3. 用・排水路について

### (2) 圃場への取水・圃場からの排水

- 残地となる田圃への取水口（給水工）機能を損なう場合には、取水が可能なよう、水路を設置
- 残地となる田圃からの排水口（田区排水）機能を損なう場合には、排水が可能なよう、水路を設置



- ⋯▶ : 現況用水路
- ⋯▶ : 現況取水口
- ▶ : 計画用水路
- ▶ : 計画取水口



- ⋯▶ : 現況排水路
- ⋯▶ : 現況排水口
- ▶ : 計画排水路
- ▶ : 計画排水口

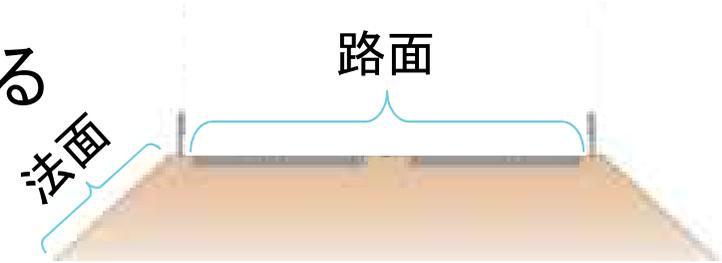
## 4. 路面・法面排水について

### (1) 基本方針

- ・ 降雨地と同一地区内での処理を基本とする

### (2) 路面排水・法面排水

- ・ 路面及び法面の排水は近傍の排水路へ流下させる
- ・ 用水路へは流下させない



### (3) 既存用・排水路の断面

- ・ 既存の用・排水路の付け替えは、新規流域からの流入（流量増）が無い限り、現況と同じ流下能力を確保する

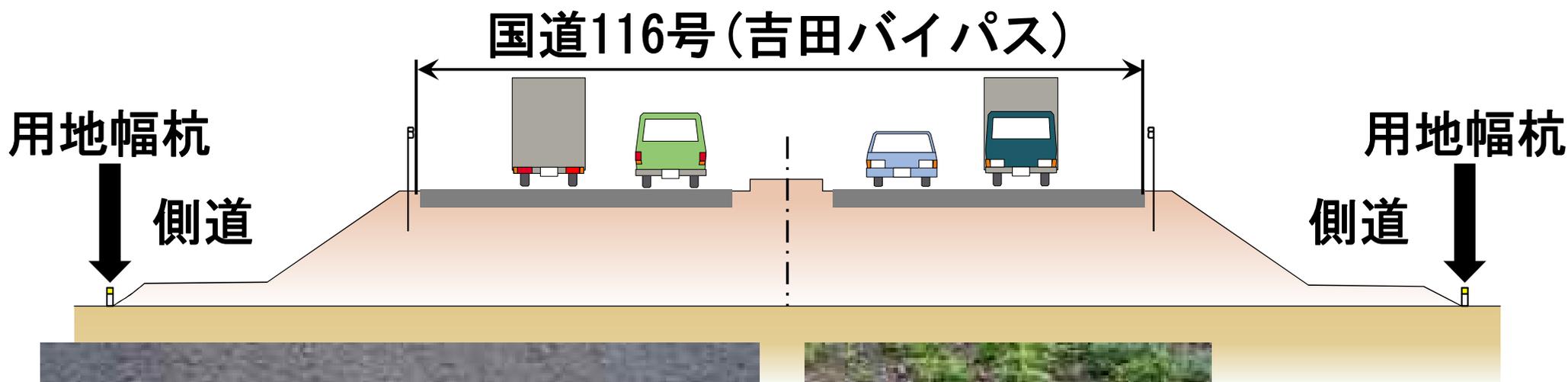
## 5. 注意事項

- ・ 基本的な考え方を示したものであり、現況の状況や、関係機関（道路管理者、土地改良区、警察等）との協議により、構造等が変わる可能性があります。

# 5. 令和4年度の予定

# 令和4年度の予定(用地幅杭設置)

- 道路必要幅がどの程度になるかを現地でも確認いただけるよう、現地に黄色の幅杭を設置します。
- 田植え作業の支障とならないよう、令和4年度中に幅杭を撤去する予定です。



用地幅杭 (木杭タイプ・鋌タイプ)



設置イメージ

**ご迷惑をお掛けしますが、  
ご理解とご協力お願い致します。**

**問い合わせ先**

**新潟国道事務所**

**【道路設計に関すること】 計画課**

**TEL:025-246-7775(直通)**